

テーマ：『 理科への関心を高め、科学的な思考を促す教材と指導の工夫 』

北九州市中学校

事務局

Tel. 093-617-0580 担当者: 福嶋 一也

理科教育研究協議会 北九州市立香月中学校



■実践内容:

昨年度に引き続き、新学習指導要領移行措置及び完全実施に向けて、本市の中学校理科教員に広く参加を呼びかけ、本年度2回の研修会を行った。研修の内容としては、地質学専門の同僚を講師とし、「化石採集」や「北九州市及びその周辺の地質系統とその分布」について学ぶ巡見研修会、また、大学教授を講師に招いて、「新学習指導要領の改善のポイント」や「新しい理科指導の在り方」について学ぶ実技講習会を実施した。この研修会で作成した自作教材や学んだ指導方法等を生かし、各中学校で第1学年「大地の変化」、第2学年「電流とその利用」、「化学変化と分子・原子」、第3学年「運動とエネルギー」「化学変化とイオン」の各単元において授業実践を行った。その後、各実践の成果と課題について持ち寄って、改善点等について意見交換を行った。

■実践成果:

昨年度に続き、新学習指導要領移行措置に当たり、移行教材として追加された内容等の指導方法や実験教材の開発について学ぶ研修会を開催してほしいとの要望が強く、その声に応え対応する研修会を企画実施することができた。研修会に参加した先生方から「自校で自作教材を活用し自信をもって指導に当たることができた。」また、「生徒の理科への関心を高め、科学的な思考を促す上で非常に効果的であった。」などの報告があがっている。

■実践ポイント:

学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、研修会で開発・作成した教材を使った授業実践を行った。特に、観察・実験場面では、生徒一人一人が自分の思考活動の中で観察・実験が行えるように実験器具を工夫、準備すること。分析・考察・表現の場面では、自分の考えを持つ時間を十分に確保すること。結果や表やグラフ、資料などを活用して分かりやすく整理し、説明させること。観察・実験したグループで意見交換をして結論をまとめさせること。学級全体で、自分の考え(成果)を発表する場を作ること。などを留意して各中学校で実践した。